

# 教えて、くしろ! 子ども探検隊!

今日は、「身近な野生動物への餌やり問題」について紹介します。

問い合わせ先 市役所環境保全課環境衛生担当 (☎31-4533)  
自然保護担当 (☎31-4594)

## ●公園や空き地にいるカラスやハトに餌を 与えてもいいのかな?

カラスやハトに餌を与えてはいけません。  
人間が与える餌に頼って、自分で餌を探さ  
なくなってしまう、野生では生きていけな  
くなるんだ。



## ●キツネやタヌキを見かけたら?

人に慣れてしまい、近づいて来るキツネやタ  
ヌキを家の近くや公園などで見かけても、餌を  
与えたりしないで、そっと見守るようにしてね。



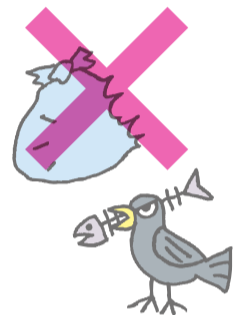
## ●餌を与え続けたらどうなるの?

餌をもらいやすい人家などの近くで巣を作  
り、その結果、糞や鳴き声による近所迷惑や、  
子育ての時期には巣を守ろうとして人を威嚇  
してくることもあるよ。  
野生動物の中には、人間に感染する病気を  
持っている動物もいて、大きな問題になるこ  
ともあるんだ。



## ●その他に気を付けることはあるかな?

野生動物にとっては人間から出る生ごみも餌  
になるんだ。だから、ごみ出しのルールをきち  
んと守ることが大事なんだ。  
山林近くでは生ごみのポイ捨てがヒグマのよ  
うな危険な野生動物を呼び寄せてしまうことが  
あるから注意が必要だよ。



## 8月10日、釧路湿原野生生物保護センターがリニューアルオープン!

釧路湿原野生生物保護センターは、シマフクロウ、オジロワシ、オオワシ、  
タンチョウなどの道東に生息する希少鳥類の保護に取り組んでいる施設です。  
北海道全域で発見される傷ついた個体や死体を収容し、生きた状態で収容さ  
れた個体に対しては、野生復帰を目指した治療・リハビリテーション・放鳥を  
行っています。また、収容した個体の事故の原因究明を行い、人為的な事故の  
防止対策につなげています。  
新しくなった施設では、大型パネルやジオラマ、映像を新設しており、東北  
海道にある国立公園の観光情報や希少猛禽類の生態情報を知ることができます。  
タンチョウやシマフクロウの大きさが体感できる「実物大飛翔図」や、シマ  
フクロウをはじめとする道東の森にいるさまざまな鳥類の声を聞くことがで  
きる「耳すましトンネル」などもあります。  
また、新設した展示ケースを活用し、実際に保護したオジロワシやオオワシ  
の個体を近くで見ることができるバックヤードツアー（有料）も新登場!現場  
で働く専門スタッフの解説による説明を聞くことができます。



▲バックヤードツアーで保護したオオワシやオジロワシを間近で見られます。



▲実物大飛翔図。

### 釧路湿原野生生物保護センター (☎56-2565)

住所 北斗2-2101

開館時間 4月1日～10月31日 午前9時30分～午後4時30分  
11月1日～3月31日 午前9時30分～午後4時

休館日 水曜日、年末年始(12月28日～1月4日)

入館料 無料(有料のバックヤードツアーは、日曜日、祝日のみ開催。  
大人800円、中学生・高校生500円、小学生100円。事前予約制で  
受け付けは当日現地。支払いは現金のみ)